

ApresiaLightFM シリーズ

Ver. 1.12.00

リリースノート

APRESIA Systems 株式会社

制定・改訂来歴表

No.	年 月 日	内 容
-	2019年4月1日	新規制定

はじめに

ApresiaLightFM シリーズ 1.12.00 のファームウェアについて説明するものです。本ファームウェアに関する重要な情報が記載されていますので必ずお読みください。

リリースバージョン

今回リリースバージョン	1.12.00
前回リリースバージョン	1.11.00

適応機種一覧

シリーズ名称	製品名称
ApresiaLightFM シリーズ	ApresiaLightFM124GT-SS
	ApresiaLightFM108GT-SS
	ApresiaLightFM116GT-SS
	ApresiaLightFM108GT-PoE
	ApresiaLightFM116GT-PoE
	ApresiaLightFM104GT-PoE

対応バージョン一覧表

各製品の対応バージョンを以下に示します。対象となる製品には、対応バージョン以外のファームウェアをダウンロードしないでください。

製品名称	対応バージョン
ApresiaLightFM124GT-SS	ApresiaLightFM Ver. 1.00.00 ~
ApresiaLightFM108GT-SS ApresiaLightFM116GT-SS	ApresiaLightFM Ver. 1.01.01 ~
ApresiaLightFM108GT-PoE ApresiaLightFM116GT-PoE	ApresiaLightFM Ver. 1.03.00 ~
ApresiaLightFM104GT-PoE	ApresiaLightFM Ver. 1.09.00 ~

輸出する際のご注意

本製品や本資料を輸出または再輸出する際には、日本国ならびに輸出先に適用される法令、規制に従い必要な手続きをお取りください。

ご不明な点がございましたら、販売店または当社の営業担当にお問い合わせください。

商標一覧

Apresia は、APRESIA Systems 株式会社の登録商標です。

その他ブランド名は、各所有者の商標もしくは登録商標です。

APLFM Ver. 1.12.00 リリース情報(2019年4月)

機能追加・修正について

このバージョンでは、以下の機能を追加・修正しております。

機能サポート

サポート内容の詳細は、関連する「CLI マニュアル」、「SW マニュアル」、「ログ・トラップ一覧」、「MIB 項目の実装仕様」を参照ください。

APLFM-11200-RC001

内容 Web 認証機能において、認証画面のリダイレクト機能及びセッションタイムアウト機能に対応しました。

関連 -

APLFM-11200-RC002

内容 802.1X 認証において、failover 機能に対応しました。

関連 -

APLFM-11200-RC003

内容 MAC 認証、Web 認証、802.1X 認証において、failover 機能のオプションで RADIUS サーバー未応答時に強制的に認証許可を行うモードを追加しました。

関連 -

APLFM-11200-RC004

内容 SSL 機能において、SHA-2 に対応しました。

関連 -

APLFM-11200-RC005

内容 SSL 機能において、TLS1.1 及び TLS1.2 をサポートし、選択できる暗号スイートを追加しました。

関連 -

APLFM-11200-RC006

内容 WEB ユーザーインターフェース機能において、Technical Support 情報に関する以下の機能を追加しました。

- ・ Technical Support 情報の表示機能
- ・ Technical Support 情報の TFTP アップロード機能

関連 -

仕様変更

仕様変更の詳細は、関連する「CLI マニュアル」、「SW マニュアル」、「ログ・トラップ一覧」、「MIB 項目の実装仕様」を参照ください。

APLFM-11200-RC007

内容 起動時設定と現在の設定の差分を tech_support 情報に含むように変更しました。
関連 -

APLFM-11200-RC008

内容 WEB ユーザーインターフェース機能において、一部のダイナミックな情報を表示する画面の構成を変更しました。
関連 -

修正

APLFM-11200-RC009

内容 RSTP 使用時に、リンクダウンしたポートの FDB 情報が消えない問題を修正しました。
関連 -

APLFM-11200-RC010

内容 特定の ICMP パケット(タイプ 17)を受信すると装置アクセスが無応答になる問題を修正しました。
関連 -

APLFM-11200-RC011

内容 LLDP 機能が有効なポートにおいて、特定の LLDP パケット(OID String Length 値が 11 を超える場合)を受信すると CPU 例外処理が発生し、装置アクセスが無応答になる問題を修正しました。
関連 -

APLFM-11200-RC012

内容 SSH の接続において、以下の不具合を修正しました。
・優先するアルゴリズムの選択によって接続が不可になる問題
・Incorrect Password で接続に失敗した場合にログイン画面が表示される問題
関連 -

APLFM-11200-RC013

内容 WEB ユーザーインターフェース機能において、ファームウェアのダウンロード処理を複数同時に受け付けて、再起動を引き起こす問題を修正しました。

関連 -

既知の問題について

このバージョンでは、以下の既知の問題があります。

既知問題

APLFM-10500-ER001

現象 10M-half で設定されたポート間をループ接続した場合、フラッディングをしないことがあります。(その結果、ループ接続状態にありながら、ループが発生していないように見えます)

回避策 -

APLFM-10300-ER001

現象 本装置の起動途中に本装置と接続先装置のポートが一時的にリンクアップ・ダウンします。ログにリンクアップ・ダウンの記録が残ります。

回避策 -

ApresiaLightFM シリーズ Ver.1.12.00 リリースノート

Copyright(c) 2019 APRESIA Systems, Ltd.

2019年4月初版

APRESIA Systems 株式会社
東京都中央区築地二丁目3番4号
築地第一長岡ビル

<https://www.apresiasystems.co.jp/>